

○ 6月8日(木) 晴 不忘山に登りユキワリコザクラに出会い帰宅

今日はこの旅の目的の最後の一つ、ユキワリコザクラを見るために不忘山に登る日だ。

3時45分起床。天気が下り坂の予報だが、幸い天気は悪くなさそうだ。

周りを見渡したが一台も車が見えず、結局昨夜この道の駅・セヶ宿に泊ったのは私だけだったようだ。

朝食を済ませ、5時に道の駅を出て不忘山の登山口がある

白石スキー場へ向かい、30分位走ってスキー場へ着いた。

広い駐車場にはすでに宇都宮ナンバーの車が1台止まっています、登山姿の女性が一人、支度を終えてさっさと出かけて行った。私も急いで支度を整え6時前に出発したが、登山コースが3本あって、私の登るコースがどこへ行けばいいのか迷って、少々時間を費やした。



白石スキー場駐車場

最初の20分余はスキー場のゲレンデを横切るように歩く。天気が良くて日差しが暑いがミヤマニガイチゴやアズマギク、アザミやミネヤナギの咲く楽しい草原の登山だ。緩斜面ではあるが日差しが暑いので白石女子高山小屋跡に着くまでに一汗かいた。



ゲレンデの中を登ってゆく



白石女子高山小屋跡

白石女子高山小屋跡から不忘山への登山道の登山が始まる。初めのうちは普通の登山道でヤマツツジやサラサドウダンの花がいっぱい咲いている、サラサドウダンの花が道一面に落ちてピンクの絨毯の上を歩いているようで楽しい。ナガハシスミレと云う距の長いスミレに初めて出会った。



ナガハシスミレ

しばらく登ると傾斜がきつくなり、雨で土砂が流れたのかV字型に抉れた道になった。すると丸太を並べて打ち込んで土止めして、それを階段状に延々と並べた道を登るようになる。段差が大きいうえに崩れていたり歩幅が合わなかったりで、メチャ疲れる大変な登山道だ。ただ両側にはミヤマニガイチゴやサラサドウダン、イワカガミが咲いていて癒される。ショウジョウバカマもたくさん生えているがほとんどがもう花は終わり実になっている。



イワカガミ



ヤマツツジ



サラサドウダン

弘法清水までは標高差約500m、大汗をかきながら2時間余で着いて一休み。

弘法清水と云ってもどこにも清水が見当たらない。



ハードルを並べたような土止めの階段

これから上へも土止めの丸太の柵がまるでハードル競争みたいに並んだ急勾配が続く大変な道を登らされる。



弘法清水

あきらめの境地でハードルを乗り越えながら林の中の急坂を30分ほど登ると、やっと視界が開けて尾根に出た。ここからは

ハードルも消えて普通の登山道になり、目の前にはこの山の名物ハクサンイチゲのお花畑が現れた。

道の両脇にはミヤマキンバイやシラネアオイが咲き、花の豊富な東北の山を楽しみながら歩いた。



ハクサンイチゲのお花畑

登るにしたがってだんだんガスが立ち込めるようになり、山頂が霧の中に見え隠れしている。

山頂近くのかえる岩手前では、お目当てのユキワリコザクラがもう出迎えてくれた。



ガスで見え隠れする山頂



ユキワリコザクラのお出迎え



かえる岩

かえる岩を過ぎて山頂付近ではハクサンイチゲ、ハクサンチドリ、シラネアオイ、ミヤマキンバイそれにホソバイワベンケイなどが総出で出迎えてくれた。



ハクサンイチゲ



シラネアオイ



ハクサンチドリ



ミヤマキンバイ



ホソバイワベンケイ

かなり苦しい登りだったが 9 時半に無事
不忘山山頂に立った。ただうっすらだが霧に
覆われ周りの景色は見えない。山頂には私
一人で誰もいなかったが、すぐに下から登っ
てくる人や、南屏風岳の方から回ってきた
人たちが賑やかになり、人気の山なのだなど
実感させられた。



ミヤマキンバイやハクサンイチゲを足元に見ながら一休みし、さて今日の目的のユキワリコザクラの撮影のため
花を探して南屏風岳方面へ歩いた。ところが！なんということか！一步山頂を出たとたんユキワリコザクラの
お花畑が始まった。南屏風岳近くまで歩かなければならないかと覚悟していたが、すぐに現れてくれてメチャ、
ラッキーだった。それから約 30 分ユキワリコザクラの撮影に没頭した。(帰って写真を確認したら、あまりにも
興奮したためか、花の写真ばかり撮っていて、周りの景色を取り込むことを忘れたようで、若干悔いの残る結果
になっていた。)



ユキワリコザクラの写真を心ゆくまで撮れたので満足して不忘山を
下った。帰りも同じ道で、例のハードルの連続した急坂だが、下りは心も
軽く 2 時間半で白石スキー場の駐車場に着いた。上は霧がかかっていたが
駐車場は晴れていて太陽の日差しが暑い。

朝出る時は駐車場に 2 台しかなかったが、今は数 10 台ならんでいる。
車を駐車場の隅の方へ移動し、汗でびしょりの衣服を脱いで着替え、
太陽の日差しで焼けて熱い駐車場の舗装の上に並べて乾かした。山頂で
少し食べたが、下りてきて 13 時近くになり腹がへったので、椅子を出して
ゆっくりと昼食をとった。



これで今回の山旅は完了しあとは帰宅するだけになった。

これから蔵王温泉へ行って風呂に入り、「道の駅・村田」へ行ってゆっくり休み、村田から東北自動車道に
乗って夜中に帰宅する。「真夜中に着くから、玄関のチェーンはかけないでおいでくれ」と朋子に電話した。

汗でぬれた衣服も殆ど乾いたので、白石スキー場を後にしてすぐ北にある遠刈田温泉へと向かった。
午後は3時に開館する遠刈田温泉の神の湯に開館と同時に入館した。



蔵王大権現



神の湯



見事な吹き抜けの天井組



神の湯

神の湯は蔵王大権現の隣にあり、昔ながらの木造の立派な建物で、天井の吹き抜けがすばらしい。
湯船も湯も雰囲気も素晴らしく、この旅の有終の美を飾るべく、久しぶりで良い温泉を楽しんだ。

その後は 10 数km 東の村田へ行って、給油し、夕食を摂って車内で一休みし、
21 時前に村田 I C から東北自動車道に乗って自宅を目指し、真夜中の 3 時過ぎに無事我が家に到着した。

今年も北海道花紀行を実施することが出来た。

今回は北海道往復ではなく、帰りに東北の山も登ってきた。

来年はどうするだろうか？ 年齢的に続けられるだろうか？ そろそろ車の運転も考えないと。

などなど

そろそろ踏ん切りをつけるタイミングを真剣に考えなければならない。

完